

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

## 株式会社ヨロズ（証券コード: 7294）

### 【変更】

長期発行体格付	BBB+	→	BBB
格付の見通し	ネガティブ	→	安定的

### ■格付事由

- (1) プレス部品を主力とする自動車部品メーカー。売上高は6割強が日産自動車向けで、大半が日系自動車向けである。テーラードブランク工法などの技術力を背景にサスペンションでは国内トップクラスにある。海外では米国、メキシコ、タイ、中国、インドなどに工場があり、20/3期海外売上高は全体の7割強を占める。
- (2) 収益力が低下している。近年は海外生産拠点を拡充させる中、主要取引先の販売低迷や新型コロナウイルス感染拡大の影響などを背景に操業度の改善余地が大きい。緊急収益改善活動などコストダウンを進めているものの、固定費負担が依然重く、今後の販売見通しも踏まえると、本格的な業績回復には時間を要すると考えられる。有利子負債の増加や自己資本の毀損により、ここ数年続いた財務基盤の悪化は21/3期で一巡したとみられる。以上より、格付を1ノッチ引き下げ、見通しを安定的とした。
- (3) 営業利益は16/3期100億円をピークに減少傾向にある。これは、セダンの需要不振や労働生産性の低下などを背景とした米州セグメントの損益悪化が主因である。21/3期営業利益の発行体計画は上半期を中心にコロナ禍による影響が大きく、2億円（20/3期22億円）である。足元では自動車生産が回復しつつあり、22/3期営業利益については回復へ転じると想定される。今後の注目点は、当社における米州セグメントの収支改善である。
- (4) 自己資本比率でみると、直近ピークの15/3期末55%から21/3期第3四半期末41%まで低下した。21/3期第4四半期では20/3期に続く減損損失の計上に、繰延税金資産の取り崩しが加わり、自己資本がさらに減少する見込みである。ただ、足元では、新拠点の整備や生産能力の増強は一服している。これまでの減損損失の計上状況も勘案すると、財務構成が22/3期以降、悪化していく可能性は小さい。

（担当）上村 暁生・小野 正志

### ■格付対象

発行体：株式会社ヨロズ

### 【変更】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	BBB	安定的

## 格付提供方針に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2021年4月5日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：窪田 幹也  
主任格付アナリスト：上村 暁生
3. 評価の前提・等級基準：  
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：  
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)、「自動車・自動車部品」(2012年3月26日)として掲載している。
5. 格付関係者：  
(発行体・債務者等) 株式会社ヨロズ
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：  
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度をもって示すものである。  
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。  
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：  
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表  
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：  
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

### ■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

### ■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

### ■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

## 株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル